

平成24年3月
酒田市（山形県）

I. 平成23年度フォローアップ結果のポイント

○計画期間;平成21年3月～平成26年3月(5年1月)

1. 概況

計画目標である「中心商店街の活性化」については、これまでの各種ソフト事業の展開、平成23年4月に開設した中心市街地まちづくり推進センターによる新規開業支援や空き店舗対策による新規開業店舗の増加、さらには、海鮮モール整備事業で整備した酒田市みなと市場や映画「おくりびと」のロケ地である旧小幡（NKエージェント）等への観光入込数の増加などにより中心市街地への来街者数が増加し、現時点で、歩行者・自転車通行量の目標数値をクリアしている。一方、主要事業の施設整備においては若干の着手遅れがあるものの、現在、酒田駅前ジャスコ跡地等を活用した、ホテル、商業施設及び住宅施設等を整備する酒田駅前地区優良建築物等整備事業が工事着手に向けた実施設計を行っており、新産業会館整備事業及び中町ふれあいサロン事業についても、実施事業者において実施に向けた課題整理を行っている。

「街なか観光の推進」については、主要事業である海鮮モール整備事業の実施により酒田市みなと市場を平成22年1月に開設し、さらに、映画「おくりびと」のロケ地である旧小幡（NKエージェント）への入込数の増加と相まって、21年度には観光入込者数が約184万人となり目標数値を達成している状況にはあるが、22年度には約172万人に減少するなど安定した観光入込数の確保には至っていない状況にある。今後、23年度に既存建造物活用事業により改修を行った、主要観光施設である山王くらぶや夢の倶楽の新たな観光客の入込と回遊性向上による周辺観光施設への波及効果が期待される。

「街なか居住の推進」については、当初計画していた主要事業である湊マンション整備事業を経済状況の悪化等により実施を断念したこともあり、目標を達成できていない状況にあるが、酒田駅前地区優良建築物等整備事業において、ホテルや商業施設と合わせて居住施設も整備を予定しており、現在、実施事業者が工事着手に向けた準備作業を進めている。

計画の進捗状況としては、基本計画に掲載する77事業のうち62事業が実施（着手）済みであり、未着手事業は15事業となっている。民間事業者が行う施設整備事業の一部においてやや遅れがあるものの、実施に向けた準備が進められている状況にある。23年度に計画の進捗状況の確認と目標達成に向けた計画事業の見直しを行い、19事業について計画内容の一部変更、4事業について統合もしくは削除を行うとともに、新たに実施すべき新規事業8事業を追加する計画変更（H24.3）を行った。現段階では、全ての目標数値を確実に達成するには至っていないが、未実施事業及び新規計画事業の実施により目標を達成できるものと考えている。

2. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の 見通し	今回の 見通し
中心商店街の活性化	歩行者・自転車 通行量	2,276 人 (H20)	3,100 人 (H25)	3,193 人 (H23)	—	③
街なか観光の推進	観光施設入込数	1,549,077 人 (H19 年)	1,600,000 人 (H25 年)	1,736,803 人 (H23 年)	—	①
街なか居住の促進	居住人口	2,954 人 (H20)	2,960 人 (H25)	2,805 人 (H23)	—	③

注) ①取組(事業等)の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。

②取組の進捗状況は概ね予定通りだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

③取組の進捗状況は予定通りではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。

④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

⑤取組が実施されていないため、今回は評価対象外。

3. 目標達成見通しの理由

1 「中心商店街の活性化」

観光客の入込数や新規開業店舗の増加等により、現時点で歩行者・自転車通行量の目標数値をクリアしているものの、わずかに上回っている程度である。今後、確実な目標達成に向けて、既存計画事業の実施と市庁舎改築に伴うにぎわい交流施設の整備などの新規計画事業の実施による新たな来街者の確保を推進することにより、目標を達成する賑わいが創出されるものと考えている。

2 「街なか観光の推進」

主要事業である海鮮モール整備事業の実施と映画おくりびとのアカデミー賞受賞効果によるロケ地への入込数により既に目標値を上回っている状況にある。今後、主要観光施設である山王くらぶや夢の倶楽(H23改修を実施)の更なる集客力の向上を図るとともに、映画「おくりびと」ロケ地旧小幡(NKエージェント)の新たな観光施設としての活用を検討し、回遊性を高めるソフト事業の展開、中心市街地で開催する各種イベントとの連携を推進することにより中心市街地への来街者の増加が見込まれる。

3 「まちなか居住の促進」

当初計画していた主要事業である湊マンション整備事業が実施事業者の都合により実施を断念したが、酒田駅前地区優良建築物等整備事業において、ホテルや商業施設と合わせて居住施設も整備を予定しており、当施設の完成とその他の主要事業の実施に伴う中心市街地の活性化(魅力・利便性向上)により居住人口の増加が期待される。

4. 前回フォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップは実施していない。

5. 今後の対策

計画事業について、ソフト事業を中心に一定の進捗は見られるものの、施設整備、特に主要となる酒田駅前地区優良建築物等整備事業、中町ふれあいサロン整備事業等が完了していないことから、結果として、賑わい創出への効果が少なく、一部で目標数値の達成に至っていない状況にある。

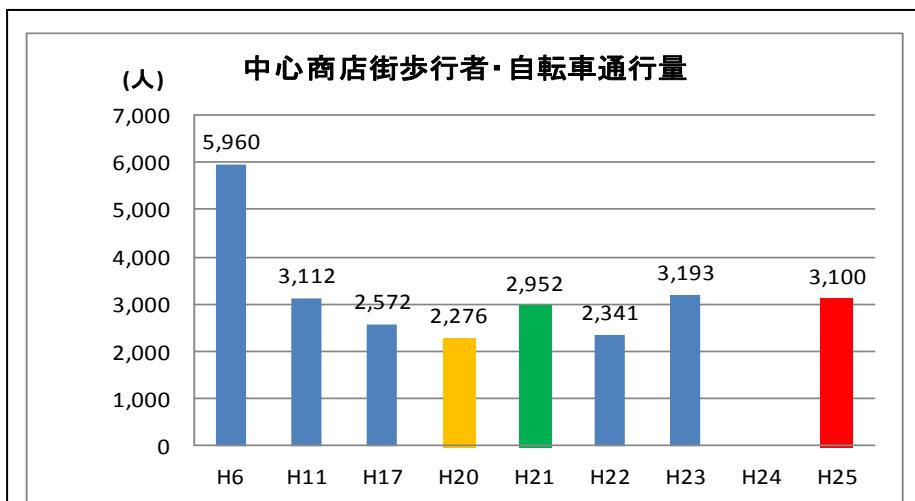
今後は、今まで以上に事業実施者との連携・情報共有を図り、計画事業の確実な実施を推進するとともに、目標達成に向けた活動を展開していく。

II. 目標毎のフォローアップ結果

「中心商店街の活性化」

「歩行者・自転車通行量」※目標設定の考え方基本計画 P53～P58 参照

1. 調査結果の推移



年	(人)
H20	2,276 (基準年値)
H21	2,952
H22	2,341
H23	3,193
H24	
H25	3,100 (目標値)

※調査方法；調査対象における測量

※調査月；10月 [平日 (第一木曜日)：7時～19時]

※調査主体；酒田市

※調査対象；酒田市中心市街地3地点における歩行者・自転車数
(ジャスコ跡地前、佐藤伝兵衛薬局前、まる五前)

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 酒田駅前地区優良建築物等整備事業 (株酒田フロントスクエア)

事業完了時期	【未】26年度
事業概要	酒田駅前ジャスコ跡地へのホテル、商業施設、駐車場、住宅棟の整備
事業効果又は進捗状況	<p>本事業は、酒田駅前ジャスコ跡地と周辺区域において、ホテル、商業施設、駐車場、住宅棟からなる複合施設を整備し、酒田の玄関口の拠点施設として賑わい創出、中心市街地の活性化を図るものである。</p> <p>平成22年9月に事業主体である(株)酒田フロントスクエアが設立</p>

され、現在、工事着手に向けた設計業務に着手している。

②. 中町ふれあいサロン整備事業（酒田まちづくり開発株）

事業完了時期	【未】平成24年度
事業概要	旧北都銀行跡地に飲食機能、貸しホール機能、ポケットパークを整備
事業効果又は進捗状況	<p>本事業は、中町中和会商店街の中心に位置する「旧北都銀行」を活用して、「飲食」「音楽」「映画」を切り口に、老若男女が集い交流を図ることにより、賑わい創出を推進するもの。</p> <p>実施においては既存建物を活用することを予定していたが、耐震や防火設備上において課題があり、既存建物を活用することが困難となった。建替え等には過大な経費を要することから、事業内容の一部を見直しながら新たな事業展開を検討中である。</p>

③. 酒田料亭横丁整備事業（酒田まちづくり開発株）

事業完了時期	【未】平成23年度
事業概要	商店街の空き地を活用し老舗料亭の味を堪能できる屋台村を整備
事業効果又は進捗状況	<p>本事業は、老舗料亭の味を手軽に堪能できるとともに、酒田の料亭文化に触れ、湊町として栄えた歴史を感じながら「食」を通して、市民や観光客等幅広い集客を図ることにより、中心市街地の賑わい創出に資するものである。</p> <p>23年度の事業実施に向け、21年度より事業実施に向けた検討を進めてきたが、事業実施場所の確保や投資事業費の回収が困難となったこともあり、現在、実施主体において事業の方向性について検討を行っている。</p>

④. 新産業会館整備事業（株酒田なかまち開発（仮称））

事業完了時期	【未】26年度
事業概要	産業会館を現行の耐震基準に適合するよう改築し交流施設として整備
事業効果又は進捗状況	<p>本事業は、老朽化が進んだ産業会館を現行の耐震基準に適合するよう改築し、商工会議所、金融機関、コンベンション、飲食機能などを有する交流施設として整備するもの。地域商工業者の経営支援活動拠点であるとともに、地域住民が広く利用できる交流拠点として中心市街地の活性化に資するものである。</p> <p>現在、産業会館の建物所有者において、既存建物の安全性等を確認する耐震診断を実施しており、その結果を踏まえての整備のあり方について検討を行っていく。</p>

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

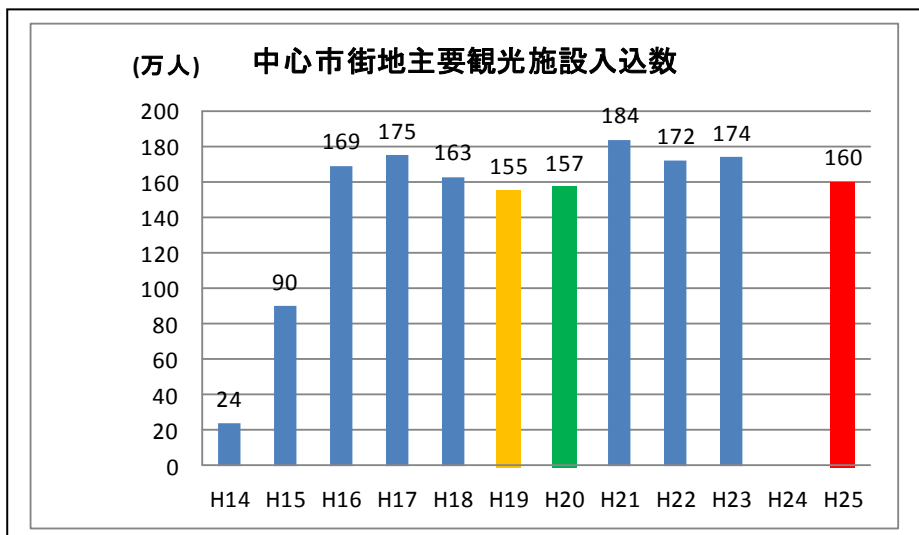
「中心商店街の活性化」については、今までの空き店舗賑わい対策事業や酒田TMO活動支援事業、地域活性化対策補助事業などのソフト事業の展開、海鮮モール整備事業（酒田市みなと市場）の実施や映画「おくりびと」のロケ地である旧小幡（NKエージェント）等への観光入込数の増加、平成23年4月に設置した中心市街地まちづくり推進センターによる新規開業支援や空き店舗対策、賑わい創出に向けた商店街振興施策の実施による新規開業店舗の増加などにより、商店街区域への来街者数が増加し、歩行者・自転車通行量の目標数値をクリアしている。しかし、数値的にもわずかに上回っている程度であることや主要事業となる酒田駅前地区優良建築物等整備事業や新産業会館整備事業、中町ふれあいサロン整備事業など施設整備事業が完了していないことから、目標年度における確実な目標達成には結びついていない状況にある。

施設整備事業については事業の進捗が遅れているものの、実施に向け調整が進められている状況にあることから、今後の施設整備事業の実施により中心市街地の新たな賑わいが創出されるものと考えている。また、市庁舎の改築やそれに伴う賑わい交流施設の併設、空き店舗を活用した新たなソフト事業なども計画しており、未着手の既存事業と新規事業の着実な実施により目標の達成は十分可能であると考えている。

「街なか観光の推進」

「観光施設入込数」※目標設定の考え方基本計画 P58～P62 参照

1. 調査結果の推移



年	(人)
H19	1,549,077 (基準年値)
H20	1,566,851
H21	1,837,358
H22	1,719,380
H23	1,736,803
H24	
H25	1,600,000 (目標値)

※調査方法；対象施設への間取り

※調査月；翌年4月

※調査主体；酒田市

※調査対象；中心市街地主要観光施設 14 か所

(旧白崎医院、旧鍛屋、酒田海洋センター、市立資料館、さかた海鮮市場、庄内米歴史資料館、酒田夢の倶楽、本間家旧本邸、海向寺、相馬樓、山王くらぶ、酒田市みなと市場、NKエージェント、みどりの山居館)

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 海鮮モール整備事業（酒田市）

事業完了時期	【済】平成 21 年度
事業概要	鮮魚を中心としたテナントミックス店舗「酒田みなと市場」を整備
事業効果又は進捗状況	本事業は、本市の観光資源である「海の幸」を中心とした多様な物産を、市民や観光客に手軽に提供する場を集積することにより、集客力と買い物客の回遊性を向上させ、中心市街地の賑わい創出を推進している。 平成 22 年 1 月 23 日に開設し、21 年度 61,588 人（1 月～3 月）、22 年度 219,049 人の入込数があり、観光客の誘客と中心市街地への来街者確保に大きく寄与している。

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

「街なか観光の推進」については、主要事業である海鮮モール整備事業により酒田市みなと市場を平成 22 年 1 月に開設し、さらに、映画「おくりびと」のロケ地である旧小幡（NKエージェント）への入込数と相まって、21 年度に観光入込者数が約 184 万人となり、目標値を達成している状況にはあるが、22 年度には 172 万人に減少するなど安定した観光入込数の確保には至っていない状況にある。

（参考：23 年度の主要観光施設入込数…海鮮市場 555,032 人、みなと市場 202,632 人、海洋センター31,998 人、夢の倶楽 660,120 人、山王くらぶ 22,091 人 ほか）

今後、主要観光施設である山王くらぶや夢の倶楽（H23 に既存建造物活用事業で改修）の更なる集客力の向上や旧小幡（NKエージェント）の新たな観光拠点としての活用を検討をするとともに、企画展示事業の充実、酒田まちあるき推進事業などの回遊性を高めるソフト事業の実施により更なる誘客を推進する。

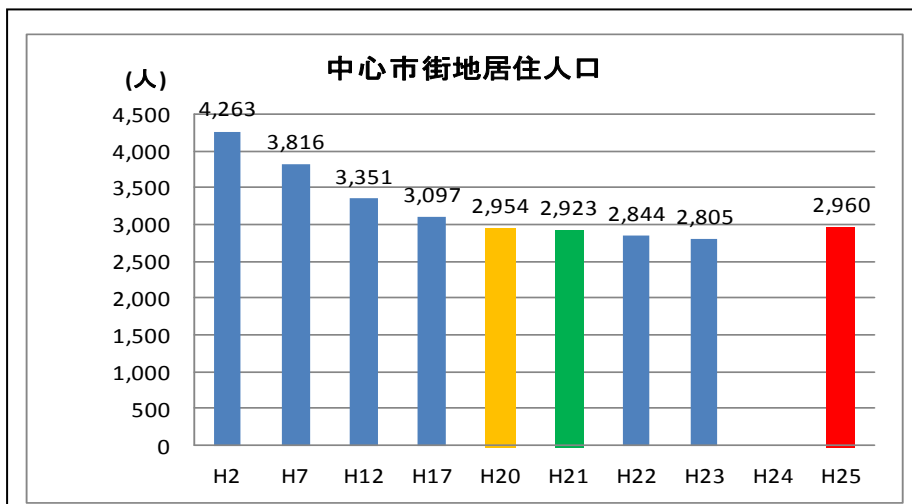
北前船時代の米どころとしての歴史を伝える山居町エリア、まちの台所として新鮮な魚や青果がそろう港エリア、ロケ地「旧割烹小幡」を中心とした料亭や歴史的建築が集まる日和山周辺エリアと、同市には大きく分けて 3 つの観光エリアがあり、それらの拠点を結ぶルートの整備や街歩きルートを設定した観光マップを配布している。また、現在実施中である観光客の利便性・回遊性を向上するためのソフト事業（観光用自転車管理事業、酒田雛街道、プロモーション強化事業等）や中心市街地で開催される各種イベントとの連携を推進することにより、中心市街地への来街者の増加につなげていく。

（参考：無料レンタサイクルの利用状況…19 年度 延べ 10,332 人、市内 11 か所に 126 台設置⇒23 年度 延べ 12,812 人、市内 13 か所に 159 台設置）

「街なか居住の促進」

「居住人口」 ※目標設定の考え方基本計画 P63～P64 参照

1. 調査結果の推移



年	(人)
H20	2,954 (基準年値)
H21	2,923
H22	2,844
H23	2,805
H24	
H25	2,960 (目標値)

※調査方法；統計資料（H2～H17は国勢調査、H20～は住民基本台帳）

※調査月；9月30日

※調査主体；酒田市

※調査対象；酒田市中心市街地（船場町1～2丁目、日吉町2丁目、幸町2丁目、二番町、中町1～3丁目、本町1～3丁目、山居町1丁目）

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 【追加】酒田駅前地区優良建築物等整備事業（株酒田フロントスクエア）

事業完了時期	「【再掲】P3参照」
事業概要	
事業効果又は進捗状況	

②. 住宅改善支援事業（酒田市）

事業完了時期	【実施中】平成16年度～
事業概要	賃貸住宅の新築・増築、店舗・事務所の賃貸住宅改修への支援
事業効果又は進捗状況	<p>本事業は、住宅環境の改善を促進し、地域経済の活性化と中心市街地への居住誘導を図るものである。</p> <p>21年度より貸付金の対象を拡充しており、継続実施により利用の拡大につなげていく。</p>

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

当初計画していた主要事業である湊マンション整備事業が実施事業者の都合により実施

を断念したが、酒田駅前地区優良建築物等整備事業において、ホテルや商業施設と合わせて居住施設も整備を予定しており、現在、実施事業者が工事着手に向けた準備作業を進めている。

当施設の完成と本計画における各種事業の展開による中心市街地の活性化（魅力・利便性向上）により居住人口の増加が見込まれる。併せて、住宅改善支援事業の継続実施により中心市街地への居住誘導を推進し、まちなか居住の拡大につなげていく。